

令和3年度 普天間第二小学校の取り組み

1 研究主題名 積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

～主体的・対話的な深い学び合いのある授業づくりを通して～

2 研究主題設定の理由

本市の英語教育特例校授業計画の実施以来、HRTとLT・JTEのTT形式の授業に取り組んでいる。歌やリズム遊び、読み聞かせ、ゲーム、スキットなどを取り入れて身近な英語を聞いたり話したり表現したりという活動の中で、児童は楽しみながら英語に触れ、慣れ、親しんでいる。

また、国際理解教育とつなげた学習に取り組むことで、異文化に興味・関心が高まってきている。児童からは、「英語は楽しい」「もっと英語を学びたい」「もっと話せるようになりたい」という声が聞かれた。

そこで、児童のモチベーションを高めるため、昨年度から引き続き今年度も、英語科においては、テーマを「積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成～主体的・対話的な深い学びのある授業づくりを通して～」とした。

英語を使って積極的にコミュニケーションを取る活動を進めるため、英語のリズムとTPR (Total Physical Response ジェスチャー・視線など) 等を使った英語のコミュニケーションの仕方を活動の中に取り入れた。この活動は、英語で話す時のリズムや英語を覚えることへの抵抗を少なくすることができ、楽しく英語に親しみ主体的・対話的な深い学びのある授業づくりに取り組んでいる。することで、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成につながると考えた。

また、外国への興味・関心を高めるため、国際理解教育とからめた活動を通して、本年度の学習の終わりには、「もっと話したい」「もっと世界の人と対話したい」等、主体的に対話したいという児童が増えると考え、本テーマを設定した。

3 学年・領域

教科として全学年で実施する。

- 低学年・・・**英語に触れる・慣れる** 英語のリズムに慣れる。体を動かして、伝えたい気持ちを動作として取り入れる。
- 中学年・・・**英語に慣れる・親しむ** 本のアルファベットからフォニックスの導入とTPRを取り入れた場面設定により、英語の聞き取り、簡単な意思表示ができる。
- 高学年・・・**英語に親しむ・使う** 指導者やデジタル教材等の英語を聞き取り、簡単な英語を読み、書きとる、特定の場面における伝えあいができる（自己紹介・買い物・道案内等）。

4 ALT・JTEの配置

	JTE	ALT
前期 (4月～10月後半)	1・3・5年	2・4・6年
後期 (10月後半～3月)	2・4・6年	1・3・5年

5 各学年の取り組み

第1学年の活動の様子

インタビューやいろいろな（魚釣り・かるた・ミッシング）ゲームや活動を通して、あいさつや色、数字、曜日、天気、野菜、動物、クリスマスの単語、ハロウィンの単語等に慣れ親しむことができた。また、ICT機器を十分に活用し、リズムよく、テンポよく反復練習を行うことで、楽しく外国語活動に取り組むことができた。また、「Do you like〜?」の質問に「I like（果物）」を答えることができるようになった。



手作り大型絵本『I'm a seed』の読み聞かせの後、JTEが英語で児童に質問しているところ



大型絵本を活用し数字・色・植物・果物の名前などの既習の言葉を振り返った

What color do you like?

第2学年の活動の様子



曲に合わせて、全身を使ってグリーティング
「How are you today?」



I like yellow!

歌やダンス、ゲームを通して、「数・形・色・体の部分・季節の行事」などの英語に慣れ親しむことができた。「ハロウィン」や「クリスマス」などの季節の行事では、楽しみながら異文化を学ぶ姿が見られた。また、日本の行事や文化を英語で言うことを通して、自国の文化も深く知ること機会になった。

第3学年の活動の様子

授業の始めに、曜日や日付などのグリーティングで使う会話表現を練習することでクラスリーダーになった時にはスムーズに始めることができた。

毎時間の歌やダンスは、楽しんで学習することができ、休み時間などにも口ずさむ姿も見られ、外国語に親しんでいる様子がうかがえた。



インタビューゲームの様子

My name is . . .

What food do you like?

第4学年の活動の様子

「アルファベットの小文字に慣れよう」では、グループで協力してアルファベットを順番よく並べたり、ミッシングゲームを取り入れたりして楽しくアルファベットの学習をすることができた。「Do you have～?」の学習では、授業の中でペア活動やインタビューを取り入れ、児童同士でお互いの発音を聞き合ったり、短い会話をしたりして理解を深めることができた。



グループで協力し、アルファベットカードを
順序良く並べる様子



「Do you have～?」相手の持ち物についてインタビューする様子

第5学年の活動の様子

授業開始のグリーティングでは、クラスリーダーを中心に、天気・曜日・日付・学習のルールなどの確認をした。「オリジナル・メニューを作ろう」の学習では、レストランでの注文の仕方や受け方を、ウェイター役とお客役に分かれてロールプレイを行い、その中で「What would you like?」や「How much is it?」等の会話表現に慣れ親しむことができた。実際の場面を設定することにより、意欲的にやりとりすることができた。

I got up at 6:50.

How much is it?

What would you like?

ジェスチャーゲームの様子

第6学年の活動の様子

Why do you like it?

What is your favorite place in Okinawa?

My favorite place is...

We can...

My best memory is...

We have...

We can...

体験活動を中心として、英語表現活動に慣れ親しみ、実用的な会話を使う場面を多く設定した。また発表活動では、ポスターを作成したりジェスチャーを交えたりしながら、工夫し交流することができた。

特別支援学級（レインボー）の取り組み

特別支援学級 8 学級（1 年生～6 年生）での合同学習として、レインボーハロウィンを実施した。授業前半は英語で自己紹介、ハロウィンの由来、ゲームを行い、授業後半は、校長室や事務室、職員室などを回ってお菓子をもらい、楽しい雰囲気の中で英語活動を楽しむことができた。児童はハロウィンの衣装を着て、みんなの前で堂々と発表するなどいつもより張り切って活動していた。



ALTとJTEによるハロウィンの由来やキャラクターの名前の紹介

ハロウィンジェスチャーじゃんけんでみんなで楽しく交流

6 成果と課題

〈成果〉

低学年：インタビューやいろいろなゲームなどの活動を通して、外国語に慣れ親しむことができた。

英語を好きになる子が増え、ALTの先生に気軽に挨拶する子が出てきた。また、簡単な英語なら、日常会話でも自然に出てくるようになってきた。（「白」は「ホワイト」のことだよと説明する子がいた。）

中学年：英語で歌ったりゲームをしたりしているので、とても楽しんでとりくんでいた。ICTも活用し、子どもたちの興味を引き出していた。

いろいろな方法やゲームで練習したことで、アクティビティで話す・書くが定着してきている様子であった。

高学年：ALT・JTEのトーク、デジタル教材の活用、読み聞かせ等を聞くことで、ヒアリングの力がついてきている。

ALT・JTEの先生方事前に打ち合わせを行い、計画的に授業を進めることができた。ペア・グループワークを取り入れることで、英語を話そうと頑張る子が増えてきた。

〈課題〉

低学年：ついていけない子がいないかなど学んだことが身についているのか把握する手立てを工夫していきたい。

いつも答えている質問にはすぐ返答できるが、ちょっと変えると答えられなくなる子がいる。（応用が難しい）

HRTの英語力不足により、ALTとコミュニケーションが取れず、授業に支障をきたすことがあった。

中学年：コロナの影響で、交流が少なかったのが残念であった。

授業はじめのグリーティングのチャンツは、1年間統一したほうが良い。

高学年：アルファベット（大文字・小文字）のライティングは、まだ定着が弱い。

コミュニケーション能力に個人差がある。

Lesson Plan 1年

1. Topic: Animals 2/2

2. Today's Goal: 絵本に出る動物や色、"What do you see?" の言い方に慣れ親しむ。

3. Target Language: cat / dog / rabbit / lion / panda / monkey / bear / elephant / tiger
horse / hamster / I like ~~/ ~~ what do you see? / I see a ~~ looking at me.

過程	活動内容 Activity	教師の支援		Remarks 留意点/教材
		HRT	JTE	
あいさつ (5分)	1. 《Greeting & Warm-up》 ①HRT の合図で始める。 ②リーダーが気分、天気、 ルールの確認をする。 ③ Hello Song ④ あいさつリレー	・あいさつを促す ・一緒に歌う ・やり方の確認	・リーダーの支援 ・歌のリード	天気カード 気持ちカード 電子黒板 ボール
導入・展開 30分	2. 《Review》 ①歌を歌う。「♪Rainbow」 ・色を指さしながら歌う。 ②動物の名前を復習する。	①歌を歌う。「♪Rainbow」 ・児童と一緒に歌う。 ②動物の名前を復習させる。		色カード 電子黒板 動物絵カード
	3. 《Practice & Activity》 ③めあての確認と読み聞かせ 「Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?」 ④絵本に出てくる色と動物の言い方や「What do you see?」の言い方を練習する。 ・英語らしい発音に注意し、色、動物の言い方やリズムに慣れる。 ⑤ビンゴゲーム ・グループに分かれる。 ・11枚ある絵カードの中から9枚選び、ビンゴシートの好きな箇所に置く。 ・全員でJTEに「Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?」と聞く。 ・JTEは「I see a ~looking at me.」と答える。 ・JTEが言ったカードがビンゴシートに置いてあったら裏返す。縦・横・斜め、いずれかが揃ったらビンゴ! ・時間内にたくさんビンゴになったグループの勝ち。	③読み聞かせ ・「～、～、what do you see?」のフレーズをJTEと一緒に繰り返すよう促す。 ④絵本に出てくる色と動物の言い方や「What do you see?」の言い方を練習する。 ・英語らしい発音に注意させ、リズムよく言わせるようにする。 ⑤ビンゴゲーム ・デモンストレーションを見せ、ゲームの進め方やルールを確認する。 ・リズムよく「Brown Bear、 Brown Bear、 What Do You See?」と言えるように促す。 ・グループの仲間と協力してゲームに参加しているか確認する。		電子黒板 動物絵カード ビンゴシート (グループ分)
まとめ 10分	4. 《Wrap-up》 ①ふりかえり ②感想 ③Good-bye Song ④終わりのあいさつ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● 「分かった事・分からなかった事・難しかった事」 ● 「言えた事・お友達とのコミュニケーションで楽しかった事」 ● 「ゲームなどで何をしたら楽しかったのか?」など。 </div>		電子黒板